



OKURA
HOTELS & RESORTS

2010年5月

< 報道関係各位 >

国際性豊かな幹部人材の育成を目的とした
『新・海外短期留学制度』 ハイポテンシャルコース開講
ホテルオークラアムステルダムで研修を実施

株式会社ホテルオークラ



「ハイポテンシャルコース」の選抜メンバー
出発前日のキックオフミーティングにて
前列中央左は、株式会社ホテルオークラ 成瀬正治執行役員事業管理部長

株式会社ホテルオークラ（本社：東京都港区、代表取締役社長：荻田敏宏）は、海外を中心とした事業展開を進めるにあたり、グループ人財力の育成を重点目標として、2009年4月より新たな人材マネジメント制度を導入しております。その一環として、将来の幹部候補社員を対象に「新・海外短期留学制度」を整え、このほど「第1回シニアマネジメントコース」が修了いたしました。引き続き、5月23日より「第1回ハイポテンシャルコース」の実施を開始。グループホテルから選抜された社員12名がオランダ・アムステルダムへ派遣され、8月21日までの3ヵ月にわたる研修をスタートいたしました。

<新・海外短期留学制度 概要>

本制度は、ホテルオークラグループの社員を対象に、国際性ゆたかな幹部人材の育成を目的として構築された研修プログラムで、「シニアマネジメントコース」と「ハイポテンシャルコース」の2つのコースから構成されています。シニアマネジメントコースの受講資格は、副部長職または課長職にある35歳から45歳程度の社員、ハイポテンシャルコースは将来の幹部候補としての潜在能力を有する30歳前後の若手社員です。

いずれのコースも、出発前に約7週間のeラーニング（電子媒体による事前学習）を修了後、オランダ・アムステルダムでの研修に参加いたします。現地での研修は、米国のコーネル大学やスイスのローザンヌホテルスクールと並び称される、オランダの「ハーグホテルスクール」と共同開発したホテルオークラ独自のカリキュラムによる講義を、ホテルオークラアムステルダム内でOJT（On the Job Training 実地訓練）も含めて進められます。

今回の「新・海外短期留学制度」の実施にあたっては、受講生1人あたり約200万円、2コース合計約5,000万円の費用を年間予算として計上しております。今後も年1回の各コースの実施を計画し、長期戦略に基づいた人材投資という人事プロジェクトとして位置づけております。

<本制度の目的と背景>

ホテルオークラは、昨今の厳しい経営環境におけるグループの経営力を強化するため、「事業拡大の推進」、「既存事業の経営力・運営力の強化」、「後方支援となるグループのインフラ整備の推進」を3つの柱として掲げております。現在、既存の国内16ホテル、海外5ホテルの計21ホテルに加え、来年以降も海外3ホテルの開業が決定しておりますが、海外を中心にさらなる事業拡大を推進していくためには、国際性ゆたかな幹部人材の確保と育成が急務となっております。



1月～4月に修了した「第1回シニアマネジメントコース」選抜メンバー
左はホテルオークラアムステルダムのロビーにて、右は「Conference & Banqueting（宴会事業管理）」のクラスで、お客様の立場に立ち、ホテル宴会場の説明を受ける体験。効果的な説明を研究

そのため、2009年4月に新たな「人材マネジメント制度」を導入いたしました。この制度は、新規開業ホテルに派遣し得る幹部人材を確保するために、ホテルオークラグループの中から潜在能力の高い人材を選抜、育成するしくみです。

教育システムの分野では、グループの総支配人、副総支配人、管理部門長などの運営幹部を対象とした経営・運営教育プログラムを制度化し、派遣先のホテルで十分に能力を発揮するため、ホテル経営・運営に関する知識を確実に習得できるようにいたしました。一方、幹部候補を対象に海外短期留学を制度化し、ホテル事業の総合的理解、論理的思考・判断力の基本となる分析力の習得・向上、とくに国際社会に通用する幹部人材の育成を目的とした「新・海外短期留学制度」を制定、スタートいたしました。修了者は海外を中心としたグループホテルへ派遣されることを視野に入れております。さらに、今後はグループとして国内における研修プログラムの体系化や独自のeラーニングシステム構築などに取り組み、充実した人材開発プログラムの展開を図ってまいります。

「ホテルオークラは2010年を『グループの人財力が問われる年』と位置づけ、グループ全体としての競争力強化のため、さらなる国際化をめざし、その一環として弊社の事業戦略上不可欠なグローバルな人材を育成していきたい」（代表取締役社長：荻田敏宏）と考えております。

<第1回シニアマネジメントコースが修了>

先に修了した「第1回シニアマネジメントコース」は1月9日から4月8日までの3ヵ月間の日程で実施され、グループホテルより12名の社員が参加いたしました。ホテルの幹部人材に必要なホテルマネジメントを学習、経験するとともに、リーダーシップスキル、プレゼンテーションスキル、企業倫理、異文化の理解とコミュニケーション、CSR(Corporate Social Responsibility)などバラエティに富んだプログラムを受講いたしました。参加者は本コースで習得した内容を活かすべく、新たな部門やポジション、あるいは既存の部門において、早速、積極的な取り組みを始めております。

ホテルオークラ「新・海外短期留学制度」の詳細は次ページをご覧ください。



1月～4月に修了した「第1回シニアマネジメントコース」

左はレゴで消防車をつくる体験をとおして、ホテル運営における「SOP(Standard of Performance)手順書」の重要性を学習。右はグループワークのプレゼンテーション風景

< ホテルオークラ 「新・海外短期留学制度」 >

- 【制度の目的】**
1. ホテル事業の総合的理解
 2. 論理的思考・判断力の基本となる分析力の習得・向上
 3. 広範な部門・業務の経験
 4. 国際性豊かな幹部人材の育成
 5. 魅力的な教育プログラム保有に伴う有能な人材の確保

【コースの種類と実施時期】

シニアマネジメントコース	2009年11月23日～2010年4月8日 (eラーニング含む、アムステルダム研修は1月9日から)
ハイポテンシャルコース	2010年4月5日～8月21日 (eラーニング含む、アムステルダム研修は5月23日から)

【講座カリキュラム】

オランダ・ハーグホテルスクールと共同開発したホテルオークラ独自のカリキュラム

【シニアマネジメントコース概要】

- 受講資格** グループホテルならびに関連会社の課長または副部長
近い将来部長職として配置されるスタッフ
講義を能力面、語学面 (TOEIC800点程度の確保が目安) で理解できる者
- 派遣人数** 12名
- 講座の期間** 事前準備期間 7週間 (電子媒体での学習)
現地研修期間 13週間 (午前4時間講義 / 午後3時間のOJT)

事前準備教育内容

- 講義方法:** 7週間の事前研修 / 電子媒体を通して実施 / 1週間毎7科目 / 1日2時間程度
- 実施科目:** ホテル経営学概要、飲食事業管理、宿泊部門管理、販売管理、収益管理、人材管理、ホテル財務会計

現地研修(講義)内容

- 講義方法:** 1日4時間講義 / 1週間20時間 / 延べ講義時間数260時間 / 科目数11
- 実施科目:** 戦略経営、飲食事業管理、宿泊部門管理、マーケティング、宴会事業管理、収益管理、業務管理、人材管理 / 異文化コミュニケーション、リーダーシップスキル (以上各1週間)、財務管理、新規事業開発計画 (以上各2週間)

【ハイポテンシャルコース概要】

- 受講資格** グループホテルならびに関連会社の幹部候補として潜在能力のある人材
講義を理解できる知識、語学力を有する者
TOEIC 原則700点程度
- 派遣人数** 12名
- 講座の期間** 事前準備期間 7週間 (電子媒体での学習)
現地研修期間 13週間 (午前4時間講義 / 午後3時間のOJT)

事前準備教育内容

講義方法： 7週間の事前研修 / 電子媒体を通して実施 / 1週間毎7科目 / 1日2時間程度
実施科目： ホスピタリティ概要、飲食事業管理概要、宿泊部門管理概要、販売管理概要、
収益管理概要、人材管理概要、ホテル財務管理概要

現地研修(講義)内容

講義方法： 1日4時間講義 / 1週間20時間 / 延べ講義時間数260時間 / 科目数11
実施科目： 飲食事業管理、飲食事業収益改革、宿泊部門管理、客室管理、宴会事業管理、
販売管理、収益管理、人材管理/異文化コミュニケーション、行動計画(以上各1
週間)、リーダーシップスキル、財務管理(以上各2週間)

【研修費用概算】 年間合計 約5,000万円 / 一人当たり 約200万円

< 第1回シニアマネジメントコース参加者からのコメント >

ホテルオークラ東京 料飲サービス課支配人 小林和彦

ホテルマネジメントに関する講義はすべて大変よい学習の機会となりましたが、プログラムの一環としてスティーブン・コヴィー著「7つの習慣」を読書教材として活用し、毎週の課題として1章ずつ読みすすめながらエッセイを書いたことが、自分自身に大きな影響をもたらしました。読んでいくごとに自身の主体性が意識され、「パラダイム変換」を起こしているという実感がありました。本コースのキーワードの一つであった”Think Out of the Box”(これまでの固定観念にとらわれず創造性を発揮する)や”Think Win-win & Synergy”(お互いがWin-winの状態であり相乗効果を発揮する)などにも繋がっていると感じました。

ホテル経営・運営に重要なポイントはリーダーシップであると学び、特にディビジョンメーク・エンパワーメント・スピードを今後の業務に取り入れ活かしていきたいと考えます。



小林和彦

ホテルオークラ オークラ ホテルズ & リゾート 営業部副部長 五十嵐淳子

このたびの参加を通じて多くのことを学び、経験させていただきました。ホテルマネジメントはもちろんですが、グローバルリーダーに必要な要素をさまざまな側面から学習することができました。まずはその国の文化や習慣を理解し、メンバーとのコミュニケーションを重視するとともに、組織のビジョンや目標を明確に示すことがリーダーに求められています。



五十嵐淳子

また、常に世の中のトレンドに敏感な研ぎ澄まされた感覚を持ち、社会の変化に対応していくことが重要であること、自分自身の「パラダイム（思考の枠組み）」を転換し、主体的に行動を起こさなければ成果にも結びつかないこと、無駄にしてもよい時間はないということが繰り返し説かれていました。これまでは目標達成のための手段を示すマネージャーとして現場の運営管理に重点を置いてきましたが、今後は真のリーダーに少しでも近づくために日々努力したいと思います。3ヵ月間、ともに切磋琢磨しながら過ごした12名のよき仲間との出会いにより、今後のグループの発展にお互いに相乗効果を発揮しながら貢献できるものと信じております。

< 株式会社ホテルオークラ 会社概要 >

社名:	株式会社ホテルオークラ
所在地:	東京都港区虎ノ門2-10-4
URL:	www.okura.com/jp
設立:	1958年12月
資本金:	30億円
連結売上高:	551億9200万円(2009年3月期)
代表者:	代表取締役社長 荻田 敏宏
従業員数:	連結会社正社員 2,587人(2009年3月期)
事業内容:	ホテル資産の所有及びホテル事業会社の所有・管理 チェーンホテルに対する運営受託及び技術指導 ホテル関連事業会社の所有・管理 ホテル事業(開発及び改善)に関するコンサルティング

報道関係の方からのお問い合わせ先

株式会社ホテルオークラ
販売企画・広報課 五十嵐・都築・小林
〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-10-4
TEL : 03-5408-6861 FAX : 03-5408-0628